

令和5年度岩手県公立学校教員採用候補者 選考試験実施要項

岩手県教育委員会

- ・受付期間 令和4年4月21日(木)～5月11日(水) (消印有効)
- ・第1次選考 令和4年7月23日(土)
- ・第2次選考 令和4年8月下旬～10月上旬
スポーツ・社会人・特定教科特別選考の第2次選考は6月上～中旬の予定

新型コロナウイルス感染症などの影響により、今後、試験実施等の変更がある場合は、岩手県公式ホームページ「教員採用試験」に随時掲載しますので、ご確認ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/kyoushokuin/saiyou/index.html>

【前年度からの主な変更点】

- ① 採用予定数 養護教諭 20名程度 (昨年比10名増)
- ② 募集教科の変更等
 - 【募集停止】高等学校：一般選考「工業（建築、土木及び工業化学）」
社会人特別選考「中国語」及び「フランス語」
特別支援学校：一般選考「工業（建築）」
 - 【募集変更】高校学校：「倫理」及び「政治・経済」を「公民」に
→ 第1次選考（教科等専門）の出題範囲は「公共」「政治・経済」「倫理」
 - 【その他】高等学校の全教科・科目において、第2次選考で模擬授業の試験を実施

1 募集対象、選考区分及び出願資格

① 一般選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格	
			所有すべき免許状 (令和5年3月31日までに取得見込みを含む)	年齢等
小学校教諭		あわせて 200名 程度	小学校教諭普通免許状	昭和38年4月2日以降に生まれた者
中学校教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語)		受験教科の 中学校教諭普通免許状	
高等学校教諭	国語、公民、地理歴史(日本史、世界史、地理)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、芸術(音楽、美術、書道)、情報、保健体育、家庭、農業、工業(機械、電気)、商業、水産、外国語(英語)	あわせて 70名 程度	受験教科の 高等学校教諭普通免許状	
特別支援学校教諭	小学部		小学校教諭普通免許状に加え、 特別支援学校教諭普通免許状 (視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱いずれかの領域)	
	中学部 高等部		国語、公民、地理歴史(日本史、世界史、地理)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、芸術(音楽、美術)、情報、保健体育、家庭、工業(機械、電気)、外国語(英語)	中学校教諭及び高等学校教諭の同じ教科のすべての普通免許状に加え、 特別支援学校教諭普通免許状 (視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱いずれかの領域)
養護教諭		20名程度	養護教諭普通免許状	

② スポーツ特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
中学校教諭	一般選考に同じ	若干名	<p>○昭和38年4月2日以降に生まれた者</p> <p>○志願する校種、教科の教諭普通免許状を有する者（令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。）又は特別免許状の取得要件を満たす者</p> <p>○以下の競技実績又は指導実績を有する者で、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者</p> <p>【競技実績】（平成29年度以降の実績に限る） 高等学校卒業後、<u>国際規模の競技大会^{※1}</u>に日本代表として出場した者、又は<u>全国規模の競技大会^{※2}</u>において<u>優秀な実績^{※3}</u>を有する者。ただし、団体競技の場合は、正選手として出場した者に限る。</p> <p>【指導実績】（平成29年度以降の実績に限る） ア <u>国際規模の競技大会^{※1}</u>に日本代表として出場した選手又はチームを監督等として指導した者 イ <u>全国規模の競技大会^{※2}</u>において<u>優秀な実績^{※3}</u>を挙げた選手又はチームを監督等として指導した者 ウ 国民体育大会少年の部、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選抜等大会（全国高等学校体育連盟主催に限る）、全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会、全国中学校体育大会、ジュニアオリンピックカップ（全国高等学校総合体育大会又は全国中学校体育大会で実施される競技に限る）において優秀な実績を挙げた選手又はチームを監督等として指導した者</p>
高等学校教諭	一般選考に同じ		

- ※1 国際規模の競技大会とはオリンピック、世界選手権大会、アジア選手権大会及びこれらに準ずる国際大会であること。
 ※2 全国規模の競技大会とは国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準ずる全国大会であること。ただし、学生や社会人等のカテゴリー別の大会は除く。
 ※3 優秀な実績とは4位以内入賞であること。
 (注) 特別免許状の取得要件（3ページ参照）を満たす者は、当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できるが、第2次選考合格後、教育職員検定試験に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。

③ 社会人特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
高等学校教諭	工業 (機械、電気)	若干名	<p>○昭和38年4月2日以降に生まれた者</p> <p>○志願する教科の高等学校教諭普通免許状を有する者（令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。）又は特別免許状の取得要件を満たす者</p> <p>○博士の学位を有する者、又は民間企業等に従事し、令和4年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも工業に関する高度な専門的知識や技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者</p>

- (注) 特別免許状の取得要件（3ページ参照）を満たす者は、当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できるが、第2次選考合格後、教育職員検定試験に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。

特別免許状制度について

特別免許状制度は、様々な分野において優れた知識や技術を有する社会人を学校教育に迎え入れ、学校教育の活性化を図る観点から設けられた制度であり、都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に対して授与され、その都道府県においてのみ効力を有することとされている。教育職員検定の実施については、教育職員免許法において次のように規定されている。

教育職員免許法第5条第4項

教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

- 一 教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
 - 学校等において教科に関する授業に携わった経験（最低1学期間以上にわたり概ね600時間以上）又は教科に関する専門分野に関する勤務経験等（概ね3年以上）のいずれかを有していることを確認します。
- 二 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者
 - 自己アピール作文、推薦書等により確認します。

岩手県教育委員会では、上記一及び二のいずれにも該当する者が特別選考によって採用内定した場合、教育職員検定の実施に必要な任命権者としての推薦を行うこととしている。

④ 特定教科特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
高等学校教諭	家庭 水産又は商船	若干名	【共通】 ○昭和38年4月2日以降に生まれた者 ○志願する教科の高等学校教諭普通免許状を有する者 （令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 【家庭】 ○「調理師」又は「栄養士」の資格を有する者 （令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 【水産又は商船】 ○3級海技士以上の資格を有する者 （令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

⑤ 岩手県現職教員特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格	
小学校教諭	/	一般選考の 採用予定数 を含む	○昭和38年4月2日以降に生まれた者 ○志願する校種、教科の教諭普通免許状を有する者 （令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。） ○現に本県の公立高等学校・特別支援学校教員として在職している者で、公立小・中学校教員としての採用を志願する者	
中学校教諭				一般選考に同じ
高等学校教諭			一般選考に同じ	○昭和38年4月2日以降に生まれた者 ○志願する校種、教科の教諭普通免許状を有する者 （令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。） ○現に本県の公立小・中学校教員として在職している者で、公立高等学校・特別支援学校教員としての採用を志願する者
特別支援学校教諭			一般選考に同じ	

(注) 本県の公立小・中学校又は公立高等学校・特別支援学校に採用後、令和5年3月31日までに満3年（休職、育児休業等の期間を除く。）に満たない者は、出願することができない。

⑥ 他都道府県現職教員特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
小学校教諭		一般選考の採用予定数を含む	○昭和38年4月2日以降に生まれた者 ○志願する校種、職種及び教科の教諭普通免許状を有する者 ○他都道府県の国公立学校（幼稚園を除く。）の正規教員として令和4年3月31日現在で3年以上の経験（休職、育児休業等の期間を除く。）を有し、現に引き続き任用されている者
中学校教諭	一般選考に同じ		
高等学校教諭	一般選考に同じ		
特別支援学校教諭	一般選考に同じ		
養護教諭			

⑦ 臨時的任用教職員経験者特別選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
小学校教諭		一般選考の採用予定数を含む	○昭和38年4月2日以降に生まれた者 ○志願する校種、職種及び教科の教諭普通免許状を有する者 ○岩手県内の公立学校又は同県内の国立大学法人附属学校において、平成31年4月1日から令和4年5月11日までに、常勤講師、非常勤講師、養護助教諭、非常勤養護助教諭又は実習助手としての経験が通算で12月以上（1日でも勤務した月は1月とみなす。）ある者
中学校教諭	一般選考に同じ		
高等学校教諭	一般選考に同じ		
特別支援学校教諭	一般選考に同じ		
養護教諭			

⑧ 障がい配慮した選考

校種等及び職種	教科等	採用予定数	出願資格
小学校教諭		一般選考の採用予定数とは別に若干名を採用予定	○「① 一般選考」に示した出願資格を有する者 ○以下のいずれかの手帳の交付を受けている者 なお、当該手帳は出願日及び受験当日において有効であること。 ア 身体障害者手帳 イ 都道府県知事又は政令指定都市市長が交付する療育手帳 ウ 精神障害者保健福祉手帳
中学校教諭	一般選考に同じ		
高等学校教諭	一般選考に同じ		
特別支援学校教諭	小学部 中学部 高等部		
養護教諭			

共通確認事項

〔 一般選考・スポーツ特別選考・社会人特別選考・特定教科特別選考・岩手県現職教員特別選考・他都道府県現職教員特別選考・臨時的任用教職員経験者特別選考・障がい配慮した選考 〕

- 1 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に規定する欠格事項に該当する者は出願できない。
- 2 日本国籍を有しない者を任用する場合は、期限を付さない常勤講師とする。
- 3 高等学校教諭及び特別支援学校教諭（中学部・高等部）のうち、地理歴史、理科、芸術及び工業については、それぞれ①一般選考の「教科等」欄の（ ）に示した区分ごとに募集するので、出願の際は whichever one を選択すること。
- 4 高等学校教諭「社会」の普通免許状を有する者は、「地理歴史」又は「公民」のいずれかに出願できる。
- 5 特別支援学校教諭（中学部・高等部）の工業に出願する者は、高等学校「工業」と中学校「技術」の両方の普通免許状を有し、かつ特別支援学校教諭のいずれかの領域の免許を有する必要がある。

2 一般選考、岩手県現職教員特別選考、他都道府県現職教員特別選考、 臨時的任用教職員経験者特別選考及び障がい配慮した選考

(1) 第1次選考

① 日程及び会場

期日	時間	実施項目	会場
7月23日 (土)	8:50	集合(すべての受験者)	岩手県立盛岡第一高等学校 (盛岡市上田3-2-1)
	9:00~9:15	連絡及び諸注意	
	9:30~11:00	教科等専門 ※ 終了後、岩手県現職教員特別選考及び他都道府県現職教員特別選考受験者は解散	岩手県立盛岡第三高等学校 (盛岡市高松4-17-16) 岩手県立盛岡南高等学校 (盛岡市西見前20-113-1)
	11:30~12:40	論文 ※ 終了後、臨時的任用教職員経験者特別選考受験者は解散	岩手県立不来方高等学校 (矢巾町南矢幅9-1-1)
	12:40~13:40	昼食	
	13:40~14:40	教職専門	

○試験会場については、受験票で通知する。

② 試験の内容

校種等及び職種	筆答試験				
	教職専門	論文	教科等専門		
小学校教諭	全員 ※1 ※2		小学校の全教科(9教科)、道徳及び外国語活動(リスニング)		
中学校教諭			出願時に選択した1教科及び道徳		
高等学校教諭			出願時に選択した1教科(科目)		
特別支援 学校教諭			小学部	小学校教諭と同じ	特別支援学校専門科目
			中学部 高等部	高等学校教諭と同じ	
養護教諭				養護専門科目	

※1 岩手県現職教員特別選考及び他都道府県現職教員特別選考受験者は、**教職専門及び論文を免除する。**

※2 臨時的任用教職員経験者特別選考受験者は、**教職専門を免除する。**

③ 試験の配点及び着眼点

	教職専門	論文	教科等専門	
配点	60	40	200	
着眼点	教育学、教育課程、 教育法規等の基礎 知識	教員としての資質、 適性等 ・理解力 ・分析力 ・論理的な思考力 ・判断力	教科(科目)に関する基礎知識及び専門性 第1次選考での配点は、以下のとおり。	
			小学校・中学校・高等学校教諭及び養護教諭	200
			特別支援学校教諭	ア 特別支援学校専門科目 イ 校種・教科毎の専門科目 例)「小学校」「中高化学」

○特別支援学校の教科等専門の得点は、上記アとイの合計で200点とする。

○教職専門、論文及び教科等専門の点数が一定の水準に満たない場合、不合格とすることがある。

○臨時的任用教職員経験者特別選考受験者は、**教職専門を免除し、論文を100点とする。**

④ 受験者の携行品

対象	携行品
受験者全員	受験票、上履、各自の履物を入れる袋、鉛筆、消しゴム、直定規
数学、技術	コンパス、三角定規
工業	計算用具として関数電卓（プログラム機能付き電卓は不可）
商業	計算用具として電卓（そろばんは可、プログラム機能付き電卓は不可）

⑤ 加点措置について

	英語資格所有者への加点措置	指定免許状及び指定資格所有者への加点措置
対象者	小学校教諭の受験者並びに中学校教諭、高等学校教諭及び特別支援学校中学部・高等部教諭の外国語（英語）受験者	小学校教諭、中学校教諭及び高等学校教諭の受験者
内容	出願時に以下のいずれかの資格を有する者については、「加点申請」をすることにより、第1次選考の得点に 20点 （小学校、特別支援学校中学部・高等部の外国語（英語）受験者は 10点 ）を加点する。	出願時に以下のいずれかの資格を有する者については、「加点申請」をすることにより、第1次選考の得点にそれぞれ 10点 を加点する。ただし、 令和5年3月31日までに加点申請の対象となった免許状が取得できなかった場合は、合格を取り消す。
対象資格等	ア 実用英語技能検定準1級以上 イ TOEIC 730点以上 ウ TOEFL (iBT) 80点以上 ※ 上記イ、ウについては、平成29年4月1日以降に受験したものを有効とする。また、TOEIC は公開テストに限る。	ア 小学校教諭の受験者で、中学校教諭又は高等学校教諭「英語」の普通免許状を有する者又は取得見込みの者 イ 小学校教諭及び中学校教諭の受験者で、特別支援学校教諭の普通免許状（視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱いずれかの領域）を有する者又は取得見込みの者 ウ 中学校教諭の「音楽」「美術」「保健体育」「技術」「家庭」の受験者で、中学校教諭「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」のいずれかの普通免許状を有する者又は取得見込みの者 エ 高等学校教諭の受験者で、「情報」の普通免許状を有する者又は取得見込みの者（高等学校教諭「情報」の受験者は除く。） オ 高等学校教諭「家庭」の受験者で、「調理師」又は「栄養士」の資格を有する者（取得見込みは不可） カ 高等学校教諭の受験者で、「司書教諭」の資格を有する者（取得見込みは不可）
申請方法	志願票に必要事項を記入し、出願時に実用英語技能検定の合格証書の写し、TOEIC 又は TOEFL (iBT) の得点証明書の写しを提出すること。	志願票に必要事項を記入し、出願時に該当する指定資格を有することを証明できる書類（栄養士免許証等）の写し、免許状の写し又は免許状取得見込み証明書を提出すること。

⑥ 障がい配慮した選考受験者について

障がい配慮した選考は、一般選考と同じ日程、試験問題で行うが、点字や拡大文字受験、手話によるコミュニケーション及び車いすでの受験等、障がいに応じた配慮を行うので、受験方法、施設面等での配慮を必要とする者は、出願時に所定の様式（障がい配慮した選考に係る申請書）を提出すること。

なお、障がいの程度に応じて第2次選考の実技試験の一部を免除することがある。

(2) 第2次選考

① 日程

令和4年8月下旬～10月上旬

会場を含めた詳細については、8月18日（木）に別途通知する。

② 対象

一般選考、岩手県現職教員特別選考、他都道府県現職教員特別選考、臨時的任用教職員経験者特別選考及び障がい配慮した選考の第1次選考に合格した者

③ 試験の内容

校種等及び職種		個人面接	模擬授業	実技試験	
小学校教諭		全員	全員 小学校3・4年生の歌唱共通教材のうち、「茶つみ」、「春の小川」、「ふじ山」、「とんび」、「まきばの朝」、「もみじ」の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏等の準備をすること。		
中学校教諭			国語、社会、数学	理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
高等学校教諭			全員 以下の教科では、実技的な要素についての試験を含む。 理科（観察・実験の基本操作に関する内容） 英語（英会話）	音楽、美術、書道、保健体育、家庭	
特別支援 学校教諭	小学部		全員 「各教科等を合わせた指導」について行う。		音楽、美術、保健体育、家庭
	中学部 高等部				
養護教諭		全員（実技的な要素を含む模擬保健指導を行う。）			

④ 面接試験の着眼点

	個人面接	模擬授業
着眼点	<ul style="list-style-type: none"> 資質 使命感 責任感 倫理観 社会性 指導力 協調性 人間性 教員としての実績 等 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性 指導技術 創意工夫 授業の展開 等

⑤ 実技試験

ア 中学校

教科	内容等
理科	観察・実験の基本操作に関する試験を行う。
音楽	<p>実技試験の内容及び範囲は、次のとおりとする。</p> <p>出題（曲の指定や演奏方法等）については、当日指示する。（視奏可、ただし電子媒体は不可）</p> <p>器楽 ピアノ：ツェルニー40番（1～10の間から当日指定）</p> <p>声乐 下記の曲の中から当日指定する曲を弾き歌いする。</p> <p>三木露風 作詞 山田耕筰 作曲 「赤とんぼ」</p> <p>江間章子 作詞 團伊玖磨 作曲 「花の街」</p> <p>土井晩翠 作詞 瀧廉太郎 作曲 「荒城の月」</p> <p>江間章子 作詞 中田喜直 作曲 「夏の思い出」</p> <p>林 古溪 作詞 成田為三 作曲 「浜辺の歌」</p> <p>吉丸一昌 作詞 中田 章 作曲 「早春賦」</p> <p>武島羽衣 作詞 瀧廉太郎 作曲 「花」</p> <p>初見視唱 単旋律の楽譜を見て歌う。</p>
美術	問題は、当日指示する。
保健体育	次の4種目の体育実技試験を行う。実施方法は、当日指示する。 種目1 陸上競技 種目2 器械運動 種目3 ダンス 種目4 球技（バレーボール）
技術	問題は、当日指示する。
家庭	被服、食物両方の実技を行う。
英語	英語運用能力の試験を行う。

イ 高等学校及び特別支援学校（中学部・高等部）

教科	内容等
音楽	<p>実技試験の内容及び範囲は、次のとおりとする。問題は、当日指示する。</p> <p>聴音 8小節程度の旋律聴音</p> <p>初見視唱 コードネームのついたメロディ譜を見て、ピアノで伴奏をつけながら歌う。</p> <p>声乐 次の歌曲の中から1曲選択し、ピアノで弾き歌いをする。 (原語、暗譜とし、調性は自由とする)</p> <p>1 Giordani : Caro mio ben 2 山田耕作 : この道 3 Mozart : Sehnsucht nach dem Frühling 4 Foster : Beautiful Dreamer</p> <p>ピアノ 任意のソナチネ又はソナタの第1楽章を演奏する。 (緩徐楽章を除く、繰り返しなし、暗譜)</p>
美術	問題は、当日指示する。
書道	問題は、当日指示する。
保健体育	次の4種目の体育実技試験を行う。実施方法は、当日指示する。 種目1 陸上競技 種目2 器械運動 種目3 ダンス 種目4 球技（バレーボール）
家庭	被服、食物両方の実技を行う。

⑥ 実技試験の携行品等

教科	携行品等
理科	筆記用具及び実験のできる服装（白衣等）の用意をすること。
美術	鉛筆（H～4Bまで数本を用意すること。）、消し具、はさみ、カッター、コンパス、定規（三角定規、直定規〔30cm〕）、のり 高等学校及び特別支援学校受験者は、加えて彩色用具一式（水彩絵具、アクリル絵具、筆洗、布、デザイン用筆等を含む。）
書道	書道用具一式（筆（各種）、墨、硯、文鎮など）、筆記用具 なお、毛氈（下敷き）は、持参しなくてよい。 また、使用する紙は、配付された紙のみとする。ただし、吸い取り紙等の持ち込みは認める。
保健体育	実技のできる服装等（運動着上下、屋内用運動靴）を用意すること。 なお、運動着の胸部にゼッケン（横20cm×縦15cmの白布に黒色のペンで受験番号を明記）を縫い付けておくこと。
技術	実技のできる服装の用意をすること。筆記用具、コンパス、定規（三角定規、直定規）を持参すること。
家庭	裁縫用具一式と調理実技ができる服装の用意をすること。
特別支援学校 （中学部・高等部）	上記のうち受験する教科で指定されたもの。

(3) 選考結果の通知等

岩手県教育委員会のホームページ及び県庁前掲示板で合格者の受験番号を公表し、受験者全員に結果を通知する。

第1次選考結果 令和4年 8月18日（木）午後2時30分頃	※ ホームページでの公表時刻は、多少前後することがあります。
第2次選考結果 令和4年10月19日（水）午後2時30分頃	

第1次選考の成績については、試験科目毎の点数を選考結果と併せて通知する。第2次選考の成績及び最終成績については、選考結果と併せて通知する。口頭開示は行わない。

3 スポーツ特別選考、社会人特別選考及び特定教科特別選考

(1) 日程

第1次選考は書類選考とし、結果は5月27日（金）に通知する。

第2次選考は6月上旬～中旬に実施の予定であり、詳細は5月27日（金）に別途通知する。

(2) 選考方法

選考区分	第1次選考	第2次選考
スポーツ 社会人 特定教科	書類選考	面接試験（口頭試問を含む。）

(3) 選考結果の通知

岩手県教育委員会のホームページ及び県庁前掲示板で合格者の受験番号を公表し、受験者全員に結果を通知する。

第1次選考結果	令和4年5月27日（金）午後2時30分頃	※ ホームページでの公表時刻は、多少前後することがあります。
第2次選考結果	令和4年7月 1日（金）午後2時30分頃	

4 出願手続

(1) 出願書類

選考区分	提出する書類
一般選考 岩手県現職教員特別選考	<p>ア 志願票・試験整理カード（所定のものに写真を貼付すること。） （職歴欄を追加する場合、岩手県教育委員会のホームページから所定の様式（職歴記入用紙）をダウンロードし使用すること。）</p> <p>イ 志願者データ登録票（所定のもの）</p> <p>ウ 383円分の切手（ビニール袋に入れて同封すること。）…受験票発送に係る郵送料</p> <p>エ 返信用角2号封筒（240mm×332mm）1通…第1次選考結果通知用封筒 （封筒はのり付き（両面テープ貼付可）のもので、表に住所・氏名を記入し、460円分の切手を貼付すること。）</p> <p>オ 実用英語技能検定合格証書の写し、TOEIC 又は TOEFL(iBT)得点証明書の写し （小学校、中学校英語、高等学校英語及び特別支援学校中学部・高等部英語受験者で英語資格所有者への加点措置を希望する者のみ）</p> <p>カ 加点措置に該当する指定資格を有することを証明できる書類（栄養士免許証等）の写し、免許状の写し又は免許状取得見込証明書 （小学校、中学校及び高等学校志願者で加点措置を希望する者のみ）</p>
他都道府県現職教員特別選考	上記ア～カに加え、都道府県教育委員会が発行する履歴証明書 （所属長による証明は不可であること。）
臨時的任用教職員経験者特別選考	上記ア～カに加え、臨時的任用教職員特別選考教職経験調書 （岩手県教育委員会のホームページから所定の様式をダウンロードし使用すること。）
障がい配慮した選考	上記ア～カに加え、障がい配慮した選考に係る申請書 （岩手県教育委員会のホームページから所定の様式をダウンロードし使用すること。）

スポーツ特別選考	<p>ア 志願票・試験整理カード（所定のものに写真を貼付すること。） （職歴欄を追加する場合、岩手県教育委員会のホームページから所定の様式（職歴記入用紙）をダウンロードし使用すること。）</p> <p>イ 返信用角2号封筒（240mm×332mm）2通…受験番号通知及び第1次選考結果通知用封筒（封筒はのり付き（両面テープ貼付可）のもので、表に住所・氏名を記入し、460円分の切手を貼付すること。）</p> <p>ウ 2000字程度の自己アピール作文（A4判、任意様式。校種、氏名を明記のこと。）</p> <p>エ 実績等の概要及び現在の活動状況をまとめたもの（A4判、任意様式。）</p> <p>オ 出場した大会の要項、表彰状、新聞記事の写しなど、実績を証明できるもの（一番成績がよいもの）</p> <p>カ 最終学校の卒業（終了）証明書又は卒業（終了）見込証明書</p> <p>キ 最終学校の成績証明書（最終学歴が大学院の者又は大学卒業後通信教育を受けている者は、出身大学の成績証明書も提出すること。）</p> <p>ク 免許状の写し、免許状取得見込証明書（在籍大学長等の証明するもの）又は免許状授与証明書（普通免許状を有していないが、特別免許状の取得条件を満たす者は提出を要しない。）</p>
社会人特別選考	<p>ア 志願票・試験整理カード（所定のものに写真を貼付すること。） （職歴欄を追加する場合、岩手県教育委員会のホームページから所定の様式（職歴記入用紙）をダウンロードし使用すること。）</p> <p>イ 返信用角2号封筒（240mm×332mm）2通…受験番号通知及び第1次選考結果通知用封筒（封筒はのり付き（両面テープ貼付可）のもので、表に住所・氏名を記入し、460円分の切手を貼付すること。）</p> <p>ウ 2000字程度の自己アピール作文（A4判、任意様式。校種、氏名を明記のこと。）</p> <p>エ 取得している資格、勤務経験により、志願する教科等に関する高度な専門的知識又は技能を修得したことを証明できるもの 例）勤務先の所属長等による推薦書、職務に関連する研究内容について執筆し学術雑誌等に掲載した論文の写しなど（英文等の論文を提出する場合は、簡潔な和訳も付すこと。）</p> <p>オ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書</p> <p>カ 最終学校の成績証明書（最終学歴が大学院の者又は大学卒業後通信教育を受けている者は、出身大学の成績証明書も提出すること。）</p> <p>キ 免許状の写し、免許状取得見込証明書（在籍大学長等の証明するもの）又は免許状授与証明書（普通免許状を有していないが、特別免許状の取得条件を満たす者は提出を要しない。）</p>
特定教科特別選考	<p>ア 志願票・試験整理カード（所定のものに写真を貼付すること。） （職歴欄を追加する場合、岩手県教育委員会のホームページから所定の様式（職歴記入用紙）をダウンロードし使用すること。）</p> <p>イ 返信用角2号封筒（240mm×332mm）2通…受験番号通知及び第1次選考結果通知用封筒（封筒はのり付き（両面テープ貼付可）のもので、表に住所・氏名を記入し、460円分の切手を貼付すること。）</p> <p>ウ 2000字程度の自己アピール作文（A4判、任意様式。校種、氏名を明記のこと。）</p> <p>エ 教科ごとに指定された資格を有することを証明できる書類（栄養士免許証等）の写し又は資格取得見込証明書（在籍大学長等の証明するもの）</p> <p>オ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書</p> <p>カ 最終学校の成績証明書（最終学歴が大学院の者又は大学卒業後通信教育を受けている者は、出身大学の成績証明書も提出すること。）</p> <p>キ 免許状の写し、免許状取得見込証明書（在籍大学長等の証明するもの）又は免許状授与証明書</p>

（2）出願書類の受付期間

令和4年4月21日（木）から令和4年5月11日（水）まで
簡易書留での郵送のみ受け付ける。（当日消印有効）
受験票は6月下旬に送付予定であること。

(3) 出願書類の提出先

志願区分	願書提出先	電話	住所
小学校教諭志願者 中学校教諭志願者	岩手県教育委員会事務局教職員課 小中学校人事担当	019(629)6127	〒020-8570
高等学校教諭志願者 特別支援学校教諭志願者 養護教諭志願者	岩手県教育委員会事務局教職員課 県立学校人事担当	019(629)6129	盛岡市内丸10-1

(4) 出願上の注意

- ア 校種、職種並びに教科等のいずれか一つに限り出願できる。ただし、小学校教諭と中学校教諭の併願のみ認める。(併願の場合、志願順位第1位の校種を受験すること。)
- イ 養護教諭の採用は小中学校・県立学校一括で行う。志願票に希望する順位を必ず記入すること。
- ウ 提出書類に不備がある場合は、出願書類として受理しないことがある。なお、志願票と各種証明書等で姓名が異なる場合、あわせて戸籍抄本を提出すること。
- エ 提出書類の郵送は、必ず簡易書留とすること。角2号封筒(240mm×332mm)を使用し、封筒表面に、「小学校」「中学校(英語)」「高等学校(日本史)」又は「特別支援学校(音楽)」のように、志願区分がわかるように朱書すること。特別選考の場合も、「特別選考希望」と朱書すること。
- オ 志願票は折り曲げないこと。志願票と試験整理カードを切り離す必要はないが、記入の際に離れてしまった場合はそのまま提出して構わないこと。
- カ スポーツ・社会人・特定教科特別選考志願者で、一般選考等、他の選考区分との併願を希望する者は、それぞれの出願に必要な書類を提出すること。
- キ 英語資格所有者の加点措置を希望する者は、実用英語技能検定の合格証書の写し、TOEIC又はTOEFL(iBT)得点証明書の写しを提出すること。
- ク 高等学校志願者で「調理師」、「栄養士」及び「司書教諭」の加点措置を希望する者は、資格を有することを証明できる書類の写しを提出すること。
- ケ 小学校・中学校志願者又は高等学校志願者で指定免許状所有者への加点措置を希望する者は、加点措置に該当する免許状の写し又は免許状取得見込証明書を提出すること。
- コ 臨時的任用教職員経験者特別選考志願者は、出願時に教職経験調書を提出し、第2次選考の際に辞令書の写しを提出すること。その際、要件を満たさない場合は、第1次選考合格を取り消すので注意すること。

(5) 第2次選考の際に提出する書類について

一般選考、岩手県現職教員特別選考、他都道府県現職教員特別選考、臨時的任用教職員経験者特別選考及び障がい配慮した選考の第1次選考合格者は、以下に示す書類各1通を、第2次選考当日に持参すること。なお、ア～ウの書類は発行に時間がかかる場合があるので、余裕をもって準備しておくこと。また、志願票と各種証明書等で姓名が異なる場合、あわせて戸籍抄本を提出すること。

選考区分	提出する書類
一般選考 岩手県現職教員特別選考 他都道府県現職教員特別選考 障がい配慮した選考	ア 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 イ 最終学校の成績証明書(最終学歴が大学院の者又は大学卒業後通信教育を受けている者は、出身大学の成績証明書も提出すること。) ウ 免許状の写し、免許状取得見込証明書(在籍大学長等の証明するもの)又は免許状授与証明書
臨時的任用教職員経験者特別選考	上記ア～ウに加え、教職経験調書に記載した勤務実績の根拠となる辞令書の写し

5 採用

(1) 合格

第2次選考の結果、採用候補者名簿登載の基準に達したと判断された者を「合格」とし、「令和5年度岩手県公立学校教員採用候補者」として名簿に登載する。名簿に登載された者は、原則、令和5年4月1日から採用となる。

なお、合格者に欠員が生じた場合は、繰り上げ合格者を出す場合がある。

(2) 名簿登載

名簿登載期間は、原則として令和5年3月31日までとする。ただし、令和5年3月31日までに必要とされる免許状が取得できなかった場合は、名簿登載を取り消す。

(3) 水産又は商船教員採用候補者の名簿登載期間延長制度について

特定教科特別選考の水産又は商船で合格した者については、3級海技士の資格を取得するまで採用を猶予し、最大で令和7年3月31日まで名簿登載期間を延長することができる。ただし、その期間内に3級海技士の資格を取得できなかった場合は、名簿登載を取り消す。

【申請手続き】

合格通知書に同封する「名簿登載期間延長願」を、令和4年12月22日（木）までに提出すること。
3級海技免状を取得後、速やかにその写しを提出すること。

(4) 大学院前期（修士）課程進学予定者、大学院前期（修士）課程1年生の名簿登載期間延長制度について

第2次選考の結果「合格」となった者のうち、国内の大学院前期課程（通信制課程は除く）に進学する予定又は在籍中の者は、大学院修了までに、合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状取得を条件に、最大2年間名簿登載期間を延長することができる。ただし、その期間内に専修免許状を取得できなかった場合は、名簿登載を取り消す。

【申請手続き】

合格通知書に同封する「名簿登載期間延長願」及び「大学院合格通知書」又は「大学院在籍証明書」を、令和4年12月22日（木）までに提出すること。
専修免許状を取得後、速やかにその写しを提出すること。

(1) 臨時的任用教員について

令和5年度岩手県公立学校教員として採用にならなかった場合でも、臨時的任用教員等として任用されることがある。任用希望の有無について、志願票及び試験整理カードの所定の欄に○をつけること。「有」の場合には希望する校種にも○をつけること。希望者は、第1次選考の結果に基づき名簿登載され、補充の必要が生じた場合には、選考を経て任用される。

(2) 過去問題の公表

2020年度～令和4年度の第1次選考筆答試験の問題は、岩手県庁1階行政情報センター及び各広域振興局内行政情報サブセンターで閲覧できる。

・行政情報センター	019-629-5062	・盛岡行政情報サブセンター	019-629-6524
・奥州行政情報サブセンター	0197-22-2811	・花巻行政情報サブセンター	0198-22-4911
・一関行政情報サブセンター	0191-26-1411	・釜石行政情報サブセンター	0193-25-2717
・大船渡行政情報サブセンター	0192-27-9911	・宮古行政情報サブセンター	0193-64-2211
・久慈行政情報サブセンター	0194-53-4981	・二戸行政情報サブセンター	0195-23-9201

(3) 試験会場への交通手段

- ◆岩手県立盛岡第一高等学校
《バス》盛岡駅発松園バスターミナル行き、バスセンター発松園バスターミナル行き 「盛岡一高前」下車
- ◆岩手県立盛岡第三高等学校
《バス》盛岡駅発松園バスターミナル行き、バスセンター発松園バスターミナル行き 「盛岡三高前」下車
- ◆岩手県立盛岡南高等学校
《JR》東北本線「岩手飯岡駅」下車 徒歩25分
- ◆岩手県立不来方高等学校
《JR》東北本線「矢幅駅」下車 徒歩10分

※ 会場への自家用車の乗り入れ及び周辺のショッピングセンター等への無断駐車を禁じます。
公共交通機関等を利用してください。